

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）		
工業専門課程デジタルクリエイター科	1	WebデザインⅠ		
授業の種類	授業担当者	実務経験		
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	徳田恭子	● 有 ○ 無		
[実務経験歴]				
<p>制作会社および一般企業にて、20年以上にわたりWebサイトのデザイン・構築・運用業務に従事。 企業サイト、キャンペーンサイトなど、多様な案件に携わる。 また、フリーランスとしてもWordPressサイトの提案・設計・構築・保守運用を継続的に担当。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Webディレクター（一般企業）：4年間（企画・要件定義・進行管理・品質管理を担当） ・Webデザイン講師（職業訓練校）：4カ月コース × 4回担当 ・Webデザイン講師（専門学校）：5年間担当 ・＜使用技術＞HTML / CSS、 JavaScript、 PHP（WordPressテーマ開発）、 Figma / VScode / Photoshop / Illustrator 				
単位数（授業の回数）	時間数☒	配当時期		必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）	60 時間	○ 前期 ○ 後期 ● 通年		○ 必修 ● 選択
[授業の目的・ねらい]				
①Webデザインの基礎知識を習得する ②デザインツール（Figma）の操作スキルを身につけ、情報設計に基づいたレイアウト制作ができる力を養う ③既存サイトの分析やデザイントレースを通して、企画意図を再現する ④学習内容をもとにオリジナル作品を制作できるようになる				
[授業全体の内容の概要]				
①デザインの基礎知識（レイアウト・配色・タイポグラフィ） ②Figmaの基本操作 ③LPサイトのデザイントレースにより、様々なWebサイトの分析を通して表現の幅を広げる ④オリジナル作品の企画・情報設計・ワイヤーフレーム作成・デザイン制作				
[授業終了時の達成課題(到達目標)]				
情報設計に基づいたワイヤーフレーム・デザインを作成できるようになる				
[準備学習の具体的な内容]				
毎授業ごとに復習の有無の確認を行い、講義・実習を進める。授業終了時には、講義内容の確認と次回の授業内容を説明し、復習・予習ができるようにする。また、長期休みの時は、課題を実施する。				
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]		
使用テキスト 参考文献 必要に応じて授業の中で紹介する。		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。		
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]				
1回	Webデザインとは			
2回	Figmaの基本操作①（フレーム、図形、テキスト、画像配置）			
3回	Figmaの基本操作②（コンポーネント、オートレイアウト）			
4回	デザイン基礎①（レイアウトの基本：グリッド、余白、視線誘導）			
5回	デザイン基礎②（配色の基礎：色相・彩度・明度、配色パターン）			

6回	デザイン基礎③（タイポグラフィ、フォント選択、階層構造）
7回	LPサイトの構造理解（情報設計、セクション分解）
8回	まとめと振り返り
9回	LPデザイントレース①（ヘッダー・ファーストビュー）
10回	LPデザイントレース②（サービス紹介部分）
11回	LPデザイントレース③（CTA・フッター）
12回	トレースの改善点を学ぶ／再現性の向上
13回	デザインレビュー会（前期成果）
14回	後期に向けた企画準備（テーマ選定・リサーチ）
15回	まとめと振り返り
16回	オリジナル作品（企画書作成：目的・ターゲット・コンセプト）
17回	情報設計（サイトマップ作成）
18回	ワイヤーフレーム制作①
19回	ワイヤーフレーム制作②
20回	デザイン制作①（トップページデザイン）
21回	デザイン制作②（下層ページデザイン）
22回	まとめと振り返り
23回	デザイン制作③（細部調整・UI改善）
24回	デザイン制作④（レスポンシブデザインの考え方）
25回	様々なWebサイトから学ぶ①（分析演習）
26回	様々なWebサイトから学ぶ②（良いデザインの条件）
27回	最終作品制作①（仕上げ）
28回	最終作品制作②（発表準備）
29回	最終発表会（オリジナル作品）
30回	まとめと振り返り